

82.8.20

No. 1126

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五、六(公衆)四五七、七二〇七

三里塚闘争と結合し狭山闘争の勝利をかちとろう

8月9日、最高裁による狭山差別裁判の上告棄却5周年を糾弾して、狭山中
央総決起集会が、東京・清水谷公園で開催された。集会には関東各地より部落
解放同盟を先頭に三千名が結集し、勤労千葉からも青年部30名が参加し、解放
同盟千葉県連・同茨城県連の隊列とともに狭山再審貫徹・石川氏実力奪還にむ
けて叫びぬいた。

軍大化攻専の下で強まる差別攻専

現在、支配者達は戦後の部落政策を反動
的に転換し、部落解放運動が幾多の血の犠
牲の上に獲得してきた諸権利・最低限の生
活保障すら次々と奪いとり、差別主義や排
外主義を煽りたて、又、解放同盟大阪府連
荒本支部や竟岐郡東小中学校に対する部落解
放運動史上空前の大弾圧にも見られるよう
に、解放運動と解放同盟解体・圧殺の策動
を一挙に強めている。

石川さん無実の実証フィルム(小名木証言)を公開

集会では、永いあいだ検察庁がかくし
持っていた石川さんの無実を証明する新
証拠Ⅱ小名木証言(事件当日、「犯行現場」
とされる雑木林からわずか15mの畑で豊
作業をしていた小名木さんが「不審な者
の姿は見かけなかった」と当時の聞き込
み捜査の段階で証言していたのに、検察
庁がこの調書を永い間かくしていた事が
発覚)を実証する弁護団の実証フィルムも
上映され、参加者全員が再び石川さん無実
の確信とこみ上げる差別裁判への怒りを
新たにした。又、獄中からの石川さんの訴
えに「必ず奪還するぞ」と誓い、日比谷公園
までのデモを貫徹した。

勝利闘争ジェット三里塚 砕粉革行・調臨

89 狭山中央集会開かる

却却却
告告告
5周年
糾弾

砂川闘争・全国住民 闘争勝利のけん引者

宮岡政雄氏を追悼する

狭山闘争は、三里塚闘争と並び日本階級
闘争の戦術的両軸として叫びぬかれ人民共
闘の主軸を創り上げてきた。だからこそ支
配者階級は、裁判の「中立性」すらかなぐり捨
てて、5年前の8月9日「上告棄却」の攻撃を
くゆえ、今また「再審」「特別抗告」の棄却を
もって石川さんの無実を闇から闇に葬り去
ろうとしているのだ。このような暗黒の差
別裁判を断じて許してはならない。

反戦・反保・反基地・不屈の農民闘争の勝利を牽引しぬいた偉大な指導者、砂川の宮岡政雄氏が
去る8月8日午後、入院先の病院で逝去されました。享年69歳でした。宮岡氏は五五年米軍立川基地
拡張に反対し、反対同盟を結成して砂川農民の先頭に立ち、闘争に導き、六七年再びかけ
られた拡張攻撃をも実力阻止する。六九年砂川闘争(勝利をかちとり)、69年安保、70年安保沖繩闘争、そして三
里塚を始めとする全国の反戦・反基地・反米軍闘争の決定的高揚を牽引し、「豊地死守・実力闘争」の
勝利をさげ示した偉大な指導者として生涯を闘いの中に書き通されました。とりわけ晩年、病苦をおこ
車イスで最後まで三里塚現地闘争の先頭に立ち、「一人は行っても農民が土地を失わない」に勝利の核心
がある。必ず勝利する」と提起・激励・指導されぬいた姿は忘れがたいもので、感動を与
えたものでした。74年三里塚闘争が最後の参加となりました。また、氏は生前、勤労千葉の労働連帯・
三里塚ジェット闘争に深い理解と評価を寄せられ、支援の先頭に立ち続けられました。11日の葬儀には全国から
多くの闘争仲間が駆けつけ、勤労千葉からは奥川委員長はじめ本部執行委員が参列し哀悼の意を表しました。われ
われは深い悲しみとまた、かく氏の不屈の遺志をききついで三里塚の勝利を必ずや勝ちとらうではありませんか。



ありし日の宮岡氏。(一九七七年)上告輸送阻止に
大集会(於千葉公園体育館)で挨拶した宮岡氏(

砕粉攻撃を組織で破壊する強固な団結を築く